



市議会報告

日本共産党

09年11月16日 第1108号

【発行】

日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

平和大好き
憲法9条は
世界の宝



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
井原めぐみ

東野 2-8-13
☎353-4730
i_megumi@d8.
dion.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

百害あって一利なし

全国学力テストの中止を



2007年4月より始められた全国一斉学力テスト(全国学力・学習状況調査)は今年3回目が実施されました。開始前から日本共産党は子どもたちや学校にいつそこの競争と序列化をもたらし、学校教育をゆがめるとして中止を求めてきました。

テスト偏重授業で 本当の学力は?

教育学者や保護者からも強い批判の声が出ている全国学力テスト。テストの平均点が公表されている県では「順位を上げる」と点数競争が起き、「点数が低い」と知事が教育委員会をしっかりとつけ、教育委員会が校長を呼びつけるなど、学校が競争に駆り立てられています。

テストの平均点を挙げるのが「学力向上」だと短絡的に受け止められ、類似問題を繰り返し「事前テスト」でやらせるなど、教育本来のわかる喜びを感じられるような授業の総意工夫からはほど遠いテスト対策偏重にゆがめられています。

「テスト結果 公表しない」

日本共産党は常に競争

に追い込まれる子どもたちの負担や大変なストレスを危惧し、結果を公表しないよう求めてきました。

浦安市は「学校の序列化や過度な競争意識をおおるおそれがある」と公表の弊害を認め、学校別の数値の公表は行わず、学力の傾向や生活習慣などの様子のみ、学校だよりや保護者会等で知らせています。

参加を誘導する文科省

現場からの批判を受け、文科省は現行の全員調査から40%の抽出調査への変更を打ち出さざるを得ませんでした。

その際、抽出対象外でも「参加を希望」すれば参加できるとし、都道府県教育委員会あての「事務連絡」で、各自治体の参加希望を11月13日までに回答するよう求めました。

ところが文科省は全国

の自治体に対し、参加を「希望する」と答えざるを得ないような「調査」を実施していることが6日、日本共産党の宮本岳志衆院議員の調べで明らかになりました。

テスト不参加こそ重要

浦安市は06年度から、小学校は国語・算数、中学校は国・算・英、学力調査と学習意識調査を浦安市独自に実施しています。

その結果、それぞれの学校の課題が明らかになり、現行の教育施策の見直しや改善の参考になります。

指導の改善には、子どもがどこで間違ったか、どこが理解出来ていないかを詳しく把握することが何よりも大切です。

9月議会でも、日本共産党が不参加を求めたのに対し、市教委は「今後も実施し浦安市の教育に生かしていきたい」とテスト続行を表明しました。テスト結果を公表しないと見識をたらしめず、テストに参加せず、市独自の学力調査を充実させるべきです。